

日	順番	質問予定者氏名	ページ番号
9月18日（木）	1	こ ん ど う 彰 治	2, 3 ページ
	2	宮 越 馨	4 ページ
	3	高 橋 浩 輔	5 ページ
	4	橋 本 洋 一	6 ページ
	5	江 口 修 一	7 ページ
	6	草 間 和 幸	8 ページ
9月19日（金）	7	安 田 佳 世	9 ページ
	8	丸 山 章	10 ページ
	9	宮 崎 朋 子	11 ページ
	10	平 原 留 美	12 ページ
	11	山 田 忠 晴	13 ページ
	12	石 田 裕 一	14 ページ
9月22日（月）	13	伊 崎 博 幸	15 ページ
	14	大 島 美 香	16 ページ
	15	ストラットン恵美子	17 ページ
	16	滝 澤 陽 一	18 ページ
	17	西 沢 智 子	19 ページ
	18	飯 塚 義 隆	20 ページ
	19	平 良 木 哲 也	21 ページ
9月24日（水）	20	高 山 ゆ う 子	22 ページ
	21	橋 爪 法 一	23 ページ

※各日の質問予定者は、変更になる場合があります。

発 言 通 告 書

上越市議会議長 渡邊 隆 様

令和7年8月25日

次のとおり通告します。

議 員 **こんどう 彰治**

発 言 の 種 別	質 疑	一般質問	緊急質問	討論（賛成・反対）	
項 目 ・ 要 旨					答 弁 者
1 市長公約について					市 長
(1) 直江津地域に整備するとしていた鉄道博物館建設を見送りとしたが、市長の看板公約である鉄道博物館をはじめとした通年観光計画について、以下の点を聞きたい。					
ア 令和3年の上越市長選挙では、「鉄道博物館をつくります」と公約に掲げていたが、令和7年7月に策定した鉄道遺産群活用基本計画において、多額の費用による財政負担の懸念から「通年観光計画の期間における新たな建築物の整備は見送る」と述べた。当初計画との乖離について、どのように考えているか。					
イ 令和12年には上杉謙信公生誕500年を迎えることから、まずは春日山城（の整備）が一番。優先順位をつけていかねばならず、すべてのことを同時にはできないと報道に対して述べたとされている。通年観光計画の期間は令和6年度から令和12年度までの7年間であるが、鉄道博物館の整備に着手しないことについて、市民や地域の皆さんにどのように説明して理解を得るのか。					
ウ 通年観光計画そのものを大きく変更せざるを得ないと思うが、市長の考えを聞きたい。					
2 今夏の渇水対応について					ガス水道 事業管理者
(1) 城山浄水場への配水管が破損したことにより、節水を余儀なくされたと認識しているが、破損時点で市としてどのように対応したのか。					
(2) 4月24日の市長記者会見では城山浄水場の停止について触れられているが、具体的な対応策は示されず、その後7月30日の市長記者会見で渇水の状況と節水要請について述べている。この間、対応策についてどのように検討していたのか聞きたい。また、節水要請については唐突感があるが、危機管理についてどのように考えているか。					
(3) 城山浄水場や正善寺浄水場への仮配管が整備されたが、この仮配管は今後どうするのか。					
(4) 後谷ダムからの配水管が破損し、仮配管工事に着手していると聞いているが、進捗状況について聞きたい。					
3 えちご・くびき野100kmマラソンについて					教育長
(1) 平成8年から隔年で開催されてきた「えちご・くびき野100km マラソン」の実行委員会が8月28日に開催され、ボランティア不足や資金難などを踏まえ、今後の大会のあり方として、令和8年度に第16回大会を開催し、その大会を最後に「えちご・くびき野100km マラソン」を終了するとした。その結果を受けて、以下の点を聞きたい。					
ア 実行委員会が決定した経緯について聞きたい。また、なぜこの時期での判断となったのか合わせて聞きたい。					
イ 全国のウルトラマラソンでも人気が高かった大会である。ランニング情報					

のポータルサイトの総合評価でも前回大会は 83.9 点（100 点満点）と高評価を受けている。支援している行政の立場からも再考の考えはないのか、改めて聞きたい。	
---	--

発 言 通 告 書

上越市議会議長 渡邊 隆 様

令和7年8月25日

次のとおり通告します。

議 員 宮 越 馨

発 言 の 種 別	質疑	一般質問	緊急質問	討論（賛成・反対）
項 目 ・ 要 旨				答 弁 者
1 中川市政4年間の市政運営の評価について (1) 最大の政治課題である人口減少を食い止めるまで、市長給料を15%カットする手法はどうであったか。また、職務の増進策といって副市長の給料10%をカットしたが効果はどうであったか。こうした通常あり得ない手法はいつまで続けるつもりか聞きたい。 (2) 中川市政の4年間は、度重なる不適切発言などに見られるように、選挙には勝ったが、適切な市政運営は出来なかったものと断言する。こうした評価は上越市史に不名誉な記録として残り、上越市民の名誉と誇りに傷をつけ、また、このような市長像が全国的な話題となり、これまで築き上げた上越市の価値を大きく毀損させてしまった罪は大きい。この4年間で失った上越市行政の信頼を回復するには、人心を一新するしかないと考えるが、所見を聞きたい。 (3) 国・県の幹部などの皆さんから、中川市長とは「会話ができない」との声が多く届く。こうした状況が4年間も続いたことで、多くの市民も職員も困惑する状態に至っている。これまでの良好な対外的な関係が崩れてしまった状態をどう回復しようとしているか聞きたい。				市 長
2 政治姿勢について (1) 中川市長の行政統治能力の欠如には驚くばかりである。ビジョンは無い、リーダーシップにも欠け、職員への丸投げ市政には驚きを隠せない。特に能登半島地震での対応や、今次の水問題の対応は、市職員は頑張っているが、市長の危機管理能力が全く感じられない。私が31年前の大渇水時に緊急に作った和田浄水場が無かったなら完全に断水となっていた。市政の混乱の要因は、市長としての能力不足にあると思う。この4年間で大きく市政が停滞してしまった事実を見るに、中川市長には限界を感じる。これ以上の市民への混乱を避けるため、議会からの2度にわたる辞職勧告を直ちに受け入れるべきだと思うが、所見を聞きたい。 (2) 中川市政での財政運営手法では、そう遠くない時期に財政破綻に陥ると思う。先日、上越市の監査委員が、令和6年の審査結果報告の際に、所感として、「実質単年度収支が3年連続で赤字になったこと。財政調整基金の残高が計画値を下回っている状況を懸念する。」と述べたことは、大変深刻な事態と映る。火力発電所から多額の税収が入っているにもかかわらず、財政をこのように危機的状态に陥れた責任は大きい。市長選挙への出馬の意向を示しているが、起死回生の具体策をどのように考えているかを聞きたい。				市 長

発 言 通 告 書

上越市議会議長 渡邊 隆 様

令和7年8月25日

次のとおり通告します。

議 員 高 橋 浩 輔

発 言 の 種 別	質 疑	一般質問	緊急質問	討論（賛成・反対）
項 目 ・ 要 旨				答 弁 者
1 身寄りのない高齢者等が安心して生活できる地域づくりのための取組について (1) 急速な少子高齢化の進行や価値観の変化、ライフスタイルの多様化等の結果、身寄りのない高齢者等の暮らしをどのように支えていくのが社会の課題として顕在化してきていることから、以下の点を聞きたい。 ア 当市における高齢者単身及び高齢者のみ世帯数の状況はどうか。また、今後の推移をどのように予測しているか。 イ 身寄りのない、身近に頼れる人がいない高齢者等が生活していく上で抱える困難や生じる課題について、どのように認識しているか。また、それに対してどのような手立てを講じているか。 ウ 「身元保証」、「手続き支援」、「日常生活の支援」、「意思決定支援と履行確認」、「死後事務」等、何かあった時のための備えをできるだけ早期に行うことが重要だと考えるが、市民に対する周知などの取組の現状はどうか。 エ 血縁や地縁が希薄化していく中、限られた福祉人材で身寄りのない高齢者等の暮らしを支えていくことは更に難しくなると考えられるが、今後市として取り組むべきことは何か。 (2) 高齢者の暮らしは、これまで同居・近居の家族によって支えられてきた側面がある。高齢者を身寄りのない状態にしないという観点から、三世代同居・近居を支援する中長期的な取組を行うべきと考えるがどうか。				市 長

発 言 通 告 書

上越市議会議長 渡邊 隆 様

令和7年8月25日

次のとおり通告します。

議 員 橋 本 洋 一

発 言 の 種 別	質 疑	一般質問	緊急質問	討論（賛成・反対）
項 目 ・ 要 旨				答 弁 者
1 中川市政4年の総括について (1) 市民のためにどのような施策を打ち、どのような成果をあげたか。また、積み残しはあるのか。あるとすればその要因は何か。				市 長
2 市長の政治姿勢について (1) 市長の不適切発言をめぐっては、令和6年6月の議長名の抗議文書提出、7月の辞職勧告決議、9月の不信任決議（否決）、令和7年7月の議長名の申し入れが行われているが、それぞれどのように受けとめ、どのような判断をしたのか。				市 長
3 市民の消火栓使用について (1) 令和7年3月定例会の委員会審査で、市民が消火栓を使用した場合の安全性の確保に関して「今後、災害に強いまちづくりの中で検討していく」との答弁があったが、その後の検討状況はどうか。また、いつまでに結論を出すのか。				市 長

発 言 通 告 書

上越市議会議長 渡邊 隆 様

令和7年8月25日

次のとおり通告します。

議 員 江 口 修 一

発 言 の 種 別	質 疑	一般質問	緊急質問	討論（賛成・反対）	
項 目 ・ 要 旨					答 弁 者
1 今後の財政運営について					市 長
(1) 人口減少が進む中、安定した税収を始め、自主財源の確保が大切であると考え えるが、市の考えを聞きたい。					
(2) 市債発行による将来世代への負担を軽減する必要があると思うが、市債の発 行基準や優先度について聞きたい。					
(3) 災害対応、社会保障費の増大は今後も避けられないと思うが、第3次財政計 画と実際の決算に乖離が生じた場合、どのように対応するのか。					
2 能登半島地震後の総括について					市 長
(1) 避難行動要支援者については、本人の同意を得て町内会に情報を提供してい るが、同意を得られないときは町内会からの支援が行き届かないことが想定さ れる。市としてどのような対応を考えているか。また、避難行動要支援者の個 別避難計画の作成は主に町内会や民生委員が担っているが、大きな負担になり ている。もっと市が作成に関わる必要があると考えるがどうか。					
(2) 津波による避難開始と解除の判断の目安は何か。また、指定緊急避難場所の トイレ問題や指定避難所の備蓄品の拡充、冷暖房対策といった避難所の環境改 善についてどう考えるか。					
(3) 車による避難で交通渋滞が懸念されるが、対策を検討しているか。また、「優 先的な車両避難対象者」を明記したガイドラインを作成してはどうか。					
(4) 避難タワーや消波堤を計画的に整備する考えはあるか。					
3 センター病院の改築について					市 長
(1) センター病院の建物の老朽化が、医師や看護師の確保や感染症対応を困難に させていると思われる。このままでは、職員のモチベーションの低下や患者離 れにより経営リスクが増大すると考えられるが、市は現状をどのように捉えて いるか。					
(2) 改築に伴う市の財政負担を軽減するため、例えば、建設コストの軽減や工期 の短縮を期待できる 100 床程度で病床稼働率が高い個室を主としたコンパク トな病院を整備し、一部は既存施設を活用すること、コスト軽減に効果的な整備 手法を採用すること、建築費の高騰を踏まえて国や県に財政支援を要望するこ となどを検討・実施してはどうか。					
(3) 改築に向けて、今年度は、専門家の助言や指導を取り入れながら、収支改善 に向けた取組を行うとしているが、現在の進捗状況について確認したい。					

発 言 通 告 書

上越市議会議長 渡邊 隆 様

令和7年8月25日

次のとおり通告します。

議 員 草 間 和 幸

発 言 の 種 別	質 疑	一般質問	緊急質問	討論（賛成・反対）
項 目 ・ 要 旨				答 弁 者
1 今夏の水不足における水道インフラの危機対応と今後の対策について (1) 4月に発生した後谷ダムから城山浄水場への水圧管路の破断事故の影響が今夏の水不足に大きく影響したと推測するが、市の見解はどうか。 (2) 破断事故の復旧経過や長期天気予報などからすれば、より早期にガス水道局 渇水対策本部を設置すべきだったと考えるが、この点についてどのように考えているか。 (3) 配管工事費など約 13 億円を専決処分としたが、今後見込まれる渇水対応の予算規模はどの程度を想定しているか。 (4) 渇水対策に要した費用が水道事業に及ぼす影響について、市としてどのように捉えているか。また、今後の水道料金改定に繋がる可能性はあるのか。 (5) 今回のような大規模な節水を防ぐために、今後どのような具体策を講じていくのか聞きたい。				ガス水道 事業管理者
2 農業用水と水田災害復旧対応について (1) 今夏の農業用水不足を踏まえ、今後、同様の渇水が予測される場合、消雪用として利用している地下水を積極的に活用し直接、用水路へ流す考えはないか。 (2) 今夏は中山間地域に加え、平野部でも水田のひび割れが多いと感じているが、今回の干ばつ災害水田復旧事業の実施にあたり、前回の令和 5 年度から改善した点について聞きたい。 (3) 復旧工事期間は年末の降雪時までとされているが、復旧範囲が多いなどの理由により間に合わない場合も考えられることから、工事期間を延長する考えはないか。				市 長
3 兵庫県三田市への不適切発言による対応について (1) 三田市への訪問に際し、公費を使った理由を説明するべきではないか。 (2) 三田市への対応は示されたが、一連の騒動で上越市が全国的な話題となり、市内の生産者や関係者も三田市の方々に謝罪をするなど、心労をおかけしている。この状況を市長はどのように認識しているのか。 (3) 他産地との比較をしなくても上越産米の価値は十分高いと感じるが、新米の収穫時期に合わせてこの魅力を市長自身の言葉で P R する意向はあるか。				市 長

発 言 通 告 書

上越市議会議長 渡邊 隆 様

令和7年8月25日

次のとおり通告します。

議 員 安 田 佳 世

発 言 の 種 別	質 疑	一般質問	緊急質問	討 論（賛成・反対）
項 目 ・ 要 旨				答 弁 者
1 中川市長の4年間の取組について (1) 市長として取り組んできた4年間の成果と課題は何か。 (2) 市長公約に基づく以下の政策プロジェクトについて、取組の成果と今後取り組むべき課題は何か。 ア 人事改革 イ 地域自治推進 ウ 通年観光				市 長

発 言 通 告 書

上越市議会議長 渡邊 隆 様

令和7年8月25日

次のとおり通告します。

議 員 丸 山 章

発 言 の 種 別	質 疑	一般質問	緊急質問	討 論（賛成・反対）
項 目 ・ 要 旨				答 弁 者
1 市長公約について (1) 市長の任期4年間ににおける以下の公約に対する成果と反省点及び課題等への認識と今後どのように生かそうとしているのか見解を聞きたい。 ア 木田庁舎の一極集中から「地域分権」へ新しい自立した地域づくり イ 子育て全国一 ウ 特定健康診断の受診率を上げ、寝たきりを少なくし「介護保険料や健康保険料を安く」すること エ 地産品を購入してくれた都市住民への、大災害時に上越市を避難先にできる「保険サービス」の提供 オ ウッドショック(世界の材木不足)から、地元木材の利用促進 カ 国のSDGs未来都市制度の導入 (2) 木田庁舎の一極集中から「地域分権」へ新しい自立した地域づくりを目指しますとしていたが、新しい自立した地域づくりができたのか。 (3) 子育て全国一を目指しますとしていたが、全国及び新潟県内の自治体の中で、現状はどの位置に属しているのか。 (4) 特定健康診断の受診率を上げ、寝たきりを少なくし「介護保険料や健康保険料を安く」しますについて、当初と比較した場合の現状はどうか。 (5) 地産品を購入してくれた都市住民が、大災害時に上越市を避難先にできる「保険サービス」を提供しますについて、進捗を聞きたい。 (6) ウッドショック(世界の材木不足)から、地元木材の利用を進めますについて、当初と比較した場合の現状はどうか。 (7) 国のSDGs未来都市制度の導入を進めますについて、進捗を聞きたい。 (8) 市長の全公約は40数項目あったと思うが、任期4年間を通した評価と見解について聞きたい。				市 長

発 言 通 告 書

上越市議会議長 渡邊 隆 様

令和7年8月26日

次のとおり通告します。

議 員 宮 崎 朋 子

発 言 の 種 別	質 疑	一般質問	緊急質問	討論（賛成・反対）
項 目 ・ 要 旨				答 弁 者
1 渇水や災害時における今後の取組について (1) この度の渇水や能登半島地震では、自宅の井戸水を活用した市民が見受けられた。災害時に井戸水を利用する利点は、住民の近くで素早く給水体制を構築できることにありと考える。災害時における生活用水確保と共助という点から、個人や事業者所有の井戸を災害時に開放する災害時協力井戸登録制度の導入について、検討するべきではないか。 2 地域に根差した果樹の生産者団体に対する支援について (1) 市内の果樹生産地において、高齢化と担い手不足、近年の異常気象などが生産者の事業継続に大きな影響を及ぼしていると考ええる。これらの解決には、生産者で組織する、地域に根差した団体の体制強化が必要と考えるが、市としてこれまで、生産者団体に対してどのように関わってきたのか。また、これらの諸課題への対応に向けて、生産者団体をどのように支援していくのか。				市 長 市 長

発 言 通 告 書

上越市議会議長 渡邊 隆 様

令和7年8月27日

次のとおり通告します。

議 員 平 原 留 美

発 言 の 種 別	質 疑	一般質問	緊急質問	討論（賛成・反対）
項 目 ・ 要 旨				答 弁 者
1 降雪時でも市民が利用しやすい上越妙高駅周辺駐車場について (1) 令和7年2月の大雪の時、市営駐車場が満車状態になった期間は、どのくらいあったか。また、定期利用者からの苦情はなかったか。 (2) 集中豪雪時には大半の駐車場が満車となり、新幹線利用客が混乱した。市として民間駐車場の利用実態をどの程度把握しているか。また、次の冬に向けてどのような具体策を講じるのか。 (3) 今後も降雪時には駐車場が不足する可能性もあるが、駐車場利用者層（通勤・出張・観光など）に応じたゾーニングを検討する考えはないか。				市 長
2 上越妙高駅前の I T 企業誘致の進捗状況と方向性について (1) I T 企業誘致の進捗状況と、支援制度を含めた今後の誘致策を聞きたい。 (2) 誘致後の進出企業への関与や支援はどのように行っているのか。 (3) デジタル田園都市国家構想交付金を活用して建設された民間オフィスビルディングの入居状況をどのように捉えているのか。また、1 階を市民が利用できる空間として活用してほしいという声があるが、市の考えはどうか。 (4) I T 企業を集積した後の上越妙高駅前に、さらに必要なものは何か。市長が考える上越妙高駅前のまちづくりにおける 10 年後のビジョンを聞きたい。				市 長

発 言 通 告 書

上越市議会議長 渡邊 隆 様

令和7年8月28日

次のとおり通告します。

議 員 山 田 忠 晴

発 言 の 種 別	質 疑	一般質問	緊急質問	討論（賛成・反対）
項 目 ・ 要 旨				答 弁 者
1 HPVワクチンキャッチアップ接種における個別通知について (1) 令和6年度末までに1回以上HPVワクチン接種を受けた方が、公費による接種を希望する場合は、遅くとも令和7年12月末までに2回目、令和8年3月末までに3回目のワクチン接種を受けなければならない。対象者へ個別通知を行い、2回目以降のワクチン接種を促す考えはないか。 2 带状疱疹ワクチン定期接種における接種率と助成について (1) 令和7年度から带状疱疹ワクチンが定期接種化されたが、現在の接種率はどの程度か。また、带状疱疹に関してどのような情報発信や疾患啓発を行っているか。加えて、接種率向上のため、ワクチン接種推奨に向けた取組の状況と、今後接種費用の助成を拡充する考えがあるか聞きたい。				市 長 市 長

発 言 通 告 書

上越市議会議長 渡邊 隆 様

令和7年8月29日

次のとおり通告します。

議 員 石 田 裕 一

発 言 の 種 別	質 疑	一般質問	緊急質問	討論（賛成・反対）	
項 目 ・ 要 旨					答 弁 者
1 「いきいきスポーツ都市宣言」に基づくスポーツ振興について					教育長
(1) 平成 22 年 3 月に「いきいきスポーツ都市宣言」をして 15 年が経過した。宣言文には「私たち上越市民は、生涯にわたりスポーツに親しみ、健康な心とからだを培い、ふれあいと支えあいの輪を広げ、活力あるまちを築くため、ここに「いきいきスポーツ都市」を宣言します。」とあるが、この宣言が市民に浸透し、具体的な成果は出ているのか聞きたい。					
(2) いきいきスポーツ都市宣言には「活力あるまちを築くため」とあり、スポーツ庁の第 3 期スポーツ基本計画にも「スポーツによる地方創生、まちづくり」とあるが、スポーツによるまちづくりに係る市のビジョンを聞きたい。					
2 総合型地域スポーツクラブについて					教育長
(1) 各地域において独自の活動を展開している「総合型地域スポーツクラブ」は、部活動の地域展開を進める中で重要な役割を担っていると考えるが、当市では「総合型地域スポーツクラブ」の存在をどのように捉えているのか。また、さらなる積極的な支援を行う考えはないか聞きたい。					
3 コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）について					教育長
(1) 当市では「学校と地域住民等との間の信頼関係を深め、一体となって学校運営の改善及び児童生徒の健全育成に取り組むこと」を目的に掲げ、コミュニティ・スクールを実施しているが、市内の一部地域では地域と学校、地域青少年育成会議の連携が希薄化していると感じている。市ではこうした実態をどう捉え、どのように対応していく考えか聞きたい。					
4 小中学校の統合について					教育長
(1) 当市では少子化を受け、小中学校の統合が進んでいるが、現状をどのように捉えているか。また、中山間地域では少子化がさらに進むと思うが、今後どのように取り組むのか。					
(2) 廃校となった地域の賑わい促進のため、教育委員会としてできることはあるか。					

発 言 通 告 書

上越市議会議長 渡邊 隆 様

令和7年8月29日

次のとおり通告します。

議 員 伊 崎 博 幸

発 言 の 種 別	質 疑	一般質問	緊急質問	討論（賛成・反対）
項 目 ・ 要 旨				答 弁 者
1 南葉高原キャンプ場の運営と維持管理について (1) アウトドア観光や関係人口拡大のため、南葉高原キャンプ場を観光に生かしていくべきと考えるがどうか。また、妙高市や長野県と連携し、広域的な取組ができないか。 (2) 南葉高原キャンプ場の利用をさらに高めるため、今後の施設の改修や運営方法をどのように考えているか。 (3) 南葉高原キャンプ場につながる林道のガードケーブルなどの安全施設について、現状をどのように認識しているか。				市 長
2 市内における外国人の現状と対応について (1) 市内に居住する外国人に関し、以下の点を聞きたい。 ア 在留資格のうち、特定技能及び技能実習の労働者数の現状と、市が考える外国人雇用の上限人数について聞きたい。 イ 町内会への加入率を調査する考えはないか。 ウ 国民健康保険税の収納率は全市民の収納率と比較してどうか。外国人の収納率が低い場合、対応策を検討してはどうか。 エ 外国人世帯及び日本人世帯それぞれにおける生活保護の受給率及び被保護者に対する自立支援の現在の取組を伺いたい。 (2) 災害時の避難所における外国人への言語対応、食料支援（ハラル食等）の体制は十分整備されているか。				市 長

発 言 通 告 書

上越市議会議長 渡邊 隆 様

令和7年9月1日

次のとおり通告します。

議 員 大 島 美 香

発 言 の 種 別	質 疑	一般質問	緊急質問	討論（賛成・反対）
項 目 ・ 要 旨				答 弁 者
1 上越アニバーサリーイヤーの取組について (1) 高田城址公園観桜会、謙信公祭および上越まっりの成果について、入込数、地域内外への情報発信による効果、経済効果の観点から聞きたい。 (2) 上越アニバーサリーイヤー未来づくり補助金について、以下の点を聞きたい。 ア 申請件数、採択件数及び交付総額 イ 補助対象事業の分野別内訳、地域貢献への具体的な成果 ウ 見込みと現時点での交付実績との比較 エ 令和8年度以降における制度の方向性 (3) 上越アニバーサリーイヤーを構成する行事等について、節目を迎えた令和7年度に限らず、翌年度以降も年間を通じた一体的な発信を強化すべきと考えるが、市の考えを聞きたい。				市 長
2 第46回高田城址公園観蓮会について (1) 観蓮会の来場者数の推移、前年との比較及び市外からの来訪状況について聞きたい。また、夏季のイベントとして、さらなる活性化を図るべきではないか。 (2) 上越観光N a v i と旅する上越による情報発信について、以下の点を聞きたい。 ア 観蓮会開催期間中における閲覧数の実績と前年との比較 イ どの程度の集客につながったのかの分析 ウ 浴衣レンタル、アフタヌーンティー、乗馬体験における予約フォームからの申し込み件数及びクレジットカードのみの支払い方法による申し込み件数への影響の有無 (3) 本町商店街やオーレンプラザなどで観蓮会と関連した様々なイベントが行われたが、観蓮会との回遊性について、市としてどのように捉えているか。また、観蓮会浴衣プランでは、「夏の本町 ガチ盛りまつり」で使える500円分のチケットが付いていたが、回遊性向上への効果はどうであったか。 (4) 熱中症対策として、テントやミストシャワー、給水スポットの設置を行ったのか。また、熱中症対策の周知と救護体制について聞きたい。				市 長

発 言 通 告 書

上越市議会議長 渡邊 隆 様

令和7年9月1日

次のとおり通告します。

議 員 ストラットン 恵美子

発 言 の 種 別	質 疑	一般質問	緊急質問	討論（賛成・反対）
項 目 ・ 要 旨				答 弁 者
1 包括的性教育の推進について (1) こども家庭庁は、「プレコンセプションケア推進5か年計画」として、性や健康に関する正しい知識の普及と相談支援の充実を掲げており、県内においては、県や複数の自治体でその考えについて既に取組が始まっている。当市における性や健康について、以下のことを聞きたい。 ア こどもや若者の健康づくりへの取組状況はどうか。 イ 若者が性や体、心の悩みについて相談できるユースクリニックが新潟県内で初めて当市を拠点に活動を始めたが、市内の子どもや若者が安心して相談できる体制づくりにどう取り組んでいるか。 ウ 当市の小中学校における性教育の現状と課題をどのように捉えているか。 エ 包括的性教育について、小中学校の教職員や保護者、児童生徒に対する研修や教育の機会を積極的に設けていく考えはないか。 オ 昨今、心身の発達の基盤を築き、性に関する正しい知識や態度を育むために、小中学校はもとより、幼児期からの性教育が必要とされているが、市の見解はどうか。 2 盗難被害の対応と対策について (1) 今年、市内において市道側溝のグレーチング蓋や高田城址公園のブロンズ像2体が盗まれる被害が発生したが、これらの盗難被害に対する市の対応を聞きたい。 (2) こうした盗難被害に遭わないための、市の対応策があれば伺いたい。				市 長 市 長 教育長 教育長 市 長 市 長

発 言 通 告 書

上越市議会議長 渡邊 隆 様

令和7年9月1日

次のとおり通告します。

議 員 滝 澤 陽 一

発 言 の 種 別	質 疑	一般質問	緊急質問	討論（賛成・反対）
項 目 ・ 要 旨				答 弁 者
1 市長自身の任期中の評価について (1) 市を代表する市長としてのリーダー像についてどのように考えているか。 (2) 4年間の任期において、自身の考えるリーダー像と合致した上越市のリーダーとなり得たか。 (3) リーダーとして、どのような方針でまちづくりをけん引し、成果を残せたか。 2 柿崎区内における小学校の統合について (1) これまでの経緯と今後のスケジュールについて聞きたい。 (2) 柿崎小学校への統合が予定されているが、現校舎は老朽化により非常に傷んでいる。児童の教育環境を考えると大規模な改修が必要と考えるが、方針について聞きたい。				市 長 教育長

発 言 通 告 書

上越市議会議長 渡邊 隆 様

令和7年9月1日

次のとおり通告します。

議 員 西 沢 智 子

発 言 の 種 別	質 疑	一般質問	緊急質問	討 論（賛成・反対）
項 目 ・ 要 旨				答 弁 者
1 障害者自立支援の更なる拡充について (1) 障害のある人が住み慣れた地域で生き生きと暮らせるよう、余暇活動や社会参加のための外出支援を行うタクシー利用料金等助成事業について、昨年的一般質問でタクシー券を使い切った際の追加交付を求めたところ、「物価高騰が続いているため来年度に向けて検討していきたい」という答弁があった。多くの障害のある人にとって引き続き移動の不安が残されたままとなっているが、この間の検討状況を聞きたい。				市 長

発 言 通 告 書

上越市議会議長 渡邊 隆 様

令和7年9月4日

次のとおり通告します。

議 員 飯 塚 義 隆

発 言 の 種 別	質疑	一般質問	緊急質問	討論（賛成・反対）
項 目 ・ 要 旨				答 弁 者
1 保倉川放水路の整備促進について (1) 国では気象変動、社会情勢の変化、地域の意向等を踏まえ、令和7年3月19日に関川水系河川整備計画を変更した。主な内容は、関川、保倉川の目標流量を増やし、治水安全度を高めるものであるが、以下の点を聞きたい。 ア 整備計画は整えられているが、未だ国の事業化に至っていない。事業化に向けた進捗はどうか。 イ 令和5年度予算から新たに「保倉川放水路沿川まちづくり事業」を計上し、沿川地域の道路ネットワークやコミュニティ施設などの検討を進めてきたが、予算化して3年、今までの経過と検討内容を聞きたい。				市 長
2 新規工業団地の整備について (1) 当市では新規企業の進出等により、大潟工業団地の分譲後も事業用地の不足が懸念されるため、新たな工業団地の整備に向け、候補地の適地選定等に係る基本計画の策定を進めているが、以下の点を聞きたい。 ア 本年、大潟工業団地の整備に全地権者から合意を得ることができたと聞いているが、今後の大潟工業団地の整備と分譲の見通しはどうか。 イ 新規工業団地の候補地の適地選定等を行うため、令和6年度は企業立地基礎調査業務委託で優先的に整備が必要な場所として2～3か所を選定するとしていたが、進捗状況はどうか。 ウ 企業誘致の促進は人手不足を加速させるなど、地元企業の雇用環境に大きな影響を与えると考えるが、対策は考えているのか。				市 長

発 言 通 告 書

上越市議会議長 渡邊 隆 様

令和7年9月5日

次のとおり通告します。

議 員 平良木 哲也

発言の種別	質疑	一般質問	緊急質問	討論（賛成・反対）	
項 目 ・ 要 旨					答 弁 者
1 学校給食費の無償化について (1) 政府与党と一部類似政党は、2026 年度（令和 8 年度）から 小学校給食費の無償化を実現することで合意したとされ、中学校への拡大についても、可能な限り速やかに実現する意向を示していると報道されている。これらのことに関し、以下の点を聞きたい。 ア 来年度からの学校給食費の無償化の見通しをどのように認識しているか。 イ 国の予算措置で無償化が実現した場合、どのようなことが課題になると考えているか。また、国や県、市の費用負担はどのようになると考えているか。さらに、既存の補助制度などとの関係を含め、公平性の確保はどうするのか。 ウ 国は、いわゆる「骨太の方針 2025」において、「高校無償化、給食費無償化及び 0～2 歳を含む幼児教育・保育の支援については、これまで積み重ねてきた各般の議論に基づき具体化を行い、令和 8 年度予算の編成過程において成案を得て実現する」としているが、来年度の予算編成の過程において、制度設計が「成案」として提示され無償化が実現できるかどうかは未だ不透明である。一方で、「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」は、自治体の判断で「給食費の無償化や負担軽減」に充てることが可能とされており、すでに多くの自治体がこの交付金を活用して給食費の一部または全額無償化を今年度から実施している。このことを考えると、来年度の予算編成の如何に関わらず、当市の裁量で無償にすることは可能であると考えがどうか。また、仮に来年度政府予算で小学校のみ無償となった場合でも、当市においてすべての義務教育学校で無償にすることが可能であると考えがどうか。 エ 上記の交付金を活用して、今年度から無償にすることも可能であったと考えるが、そうしなかったのはなぜか。これまでの教育長の答弁との関係も含めて聞きたい。					教育長
2 多文化共生の教育について (1) 多様な文化の存在とそれらを尊重する知識と姿勢を学ぶことは、国際化社会に生きる私たち市民にとって非常に重要であるが、同時に学校教育においても、多文化共生の教育が重要である。このことに関し、以下の点を聞きたい。 ア 当市の市立小中学校において、多文化共生についてはどのように取り扱っているか。 イ 一部で、外国人が不当に優遇されているなどと言う事実無根の主張を行う勢力が存在し、それらの影響で、外国人を排除していけばこの社会が良くなると受け取られかねない言説、主張がなされている現状がある。これらのことについて、児童生徒に正確で公正な情報を提供し、外国人を含むすべての人に対して真摯な姿勢で臨むべきことを語りかける取組はどのように行っているか。また、行う考えか。					教育長

発 言 通 告 書

上越市議会議長 渡邊 隆 様

令和7年9月5日

次のとおり通告します。

議 員 高山 ゆう子

発 言 の 種 別	質 疑	一般質問	緊急質問	討論（賛成・反対）
項 目 ・ 要 旨				答 弁 者
1 子どもの命と人権を守る取組について (1) 市立小中学校における過去5年間のいじめの認知件数と、その内訳を聞きたい。 (2) 子どもの人権を守り、いじめや自殺を防ぐために当市の学校で取り組んでいることについて聞きたい。また、新発田市のように全学校でCAPワークを取り入れ、子どもたちが自分自身や友達を大切と感じ、自分や友達を守るための知識とスキルを身に付けられるようにすべきと考えるがどうか。 (3) 性教育は人権に関わる重大な問題であるとする。日本における性教育の内容は学校によってばらつきがあると思うが、主には身体的なものであり「はどめ規定」の存在がネックになっている。当市の取組は、従来の身体的な内容を超えた人権教育になっているのか聞きたい。				教育長
2 災害と避難所運営について (1) 当市の指定避難所は124箇所あるが、冬場の寒さ対策についてはストーブや毛布はあるものの夏場の扇風機などの備蓄はない。夏場の暑さ対策への配慮は万全か。昨今の異常気象による暑さは尋常ではなく、高齢者や子どもなどは体温調節ができないと熱中症など命に関わるが、どのように考えているか。 (2) 現在の指定避難所や集中備蓄先に、トイレトペーパーの備蓄はあるか。また、乳児については粉ミルクが備蓄されているが、液体ミルクを備蓄する考えはないか。更に停電により発電機を使用した場合の燃料補給について、どのように考えているか。				市 長

発 言 通 告 書

上越市議会議長 渡邊 隆 様

令和7年9月8日

次のとおり通告します。

議 員 橋 爪 法 一

発 言 の 種 別	質 疑	一般質問	緊急質問	討論（賛成・反対）
項 目 ・ 要 旨				答 弁 者
1 市内の山城（城跡）について (1) 市内にある山城の価値をどう認識しているか聞きたい。 (2) 市内にある山城の現状と課題についてどう考えているか聞きたい。				教育長
2 町田古墳群について (1) 前方後円墳の発見は「当市の歴史に新しい1ページを加える成果」だったと思うが、古墳群のその後の実態把握と保護の動きについて聞きたい。 (2) その後の調査の中で明らかになった課題と方針について聞きたい。 (3) 案内看板、アクセス道路の整備について聞きたい。				教育長
3 学校給食について (1) 地場産農産物の使用状況と課題について聞きたい。 (2) 学校給食を通じて児童、生徒から農業への理解を深め、農業に関心を持ってもらうためにどのような取組をしているか。				教育長